

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	子ども育成課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	4.子育て世代の定住促進				
分野別方針	(1)子育てサロンの充実		実施計画事業	1)地域子育て環境づくり事業(No.30)				
予算等事業名	子育てサロン運営事業							
目的	地域の子育て支援の拠点として既存の子育てサロンを運営するとともに、拠点の拡充を図るため、新たなサロンの設置を検討する。							
内容	子育て支援の充実を図るために、子育てサロンを運営する。							
根拠法令・条例等	児童福祉法							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
			<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

総合評価

実績	百合が丘サロン、栄通りサロンの2か所にて実施。平成25年度より栄通りサロンにおいて、第1・第3土曜日開催を実施している。1月より栄通りで一時的に事業を新たに開始した。				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	利用者数				
前期(27年度)目標値	12,000人			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
	単位: 人				
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	子育てサロン延べ利用者数	
	11,380人				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		8,161	7,582				
財源内訳	一般財源	7,516	6,929				
	国庫支出金	646	646				
	県支出金						
	その他	1	7				

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 親子等が気軽に集い、育児相談員等が相談に応じるなど、安心して育児ができるようサポートしている	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	B
	【説明】 保健センターでの母子保健事業(乳幼児健診や相談など)との連携を図り両方で一貫した支援ができる	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 乳児期の早い時期や幼稚園入園後の夏休み期間など利用者も時間を有効に使い、幅広い年齢層が利用	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 多くの利用者に対し、安全面に配慮し専門職を配置し相談にも応じるなど成果を上げている。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 安心して子育てができる機会となるだけでなく、保護者の孤立化を防止し、ひいては虐待防止や早期発見にもつながる場でもあるため、継続して事業を実施する	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	サロンでは、一時預かり事業も開始するなど、保護者からの要望に対応しているが、今後も保護者の側に立ち今後も事業を推進していく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	町内2か所の子育てサロンは、就学前児童及び保護者に対する支援の拠点となっている。		
今後の方向性	気軽に利用できる施設として、運営の充実を図る。		